

平成25年度第6回宇都宮市河内自治会議録

- 1 日時 平成25年12月13日(金) 午後1時30分～午後3時30分
 2 場所 河内地域自治センター 第1・2会議室
 3 出席者
 【委員】 杉原弘修委員(会長), 川上幸子委員(副会長), 大谷津健敏委員, 加藤幸雄委員, 君島京子委員, 小森光晴委員, 櫻井基一郎委員, 関口啓子委員, 永井寛委員, 中澤敏美委員, 中村房夫委員, 船橋あけみ委員, 宗像茂委員, 森由利子委員, 山田ちい子委員, 山田祐子委員, 我妻勝次委員, 若林知委員
 計18名
 【事務局】 地域まちづくり担当参事, 河内地域自治センター所長, 地域自治制度担当副参事, 地域経営課長, 他4名
 計8名

- 4 会議の公開・非公開 公開
 5 傍聴者数 なし
 6 会議経過

(1) 開会

- ・本日の会議の出席者数は18名, 小野章委員, 多田出芳子委員が欠席。委員数の過半数に達しているため, 会議が成立することを事務局から報告。

(2) 協議事項

- ・地域まちづくりに関する施策の提案について
 実現方策(グループ協議)

発言者	発言内容
会長	本日は前回に引き続き, 地域のまちづくりに関する施策の提案についてグループ協議を行う。前回の会議で, テーマ「福祉, 健康, 安全・安心」の目標の設定について皆さんの意見を副会長と整理し, 資料としてまとめた。まず, 目標の設定について確定していく。事務局から説明をお願いします。
事務局	資料1, 参考資料1を説明
会長	何か意見はあるか。
委員	(意見なし)
会長	次に, 本日のグループ協議の進め方について, 事務局から説明をお願いします。
委員	事務局から, 資料2, 3, 参考資料2の説明
会長	何か意見はあるか。
委員	(意見なし)
会長	それでは, グループ協議をお願いします。

実現方策のグループ協議を実施

会長	実現方策についてグループごとに発表を5分程度でお願いします。質疑応答は, 発表後まとめて行う。A・B・Cの順で発表をお願いします。
委員	Aグループの発表をする。 福祉の実現方策としては, 「地域内交通網が細部まで行きわたり, 生活に不自由をなくす」「高齢者の居場所を作るために, 人材を活用する」「地域の人材発掘をする」

	<p>福祉の実現方策について説明する。</p> <p>「高齢者の居場所を作るために人材を活用する」は、地域とのしがらみ等があり家の中に引きこもっている。そのような人のために、出前講座や歩いて行けるところに居場所を作る。地域の小中学校の授業に参加する。高齢者の教養を生かすことが大事になってくる。</p> <p>「地域の人材発掘をする」は、家に引きこもりがちの方のサポートをするスタッフが必要なのではないか。地域の人材発掘をするために、地域の中にどのような人がどこにいるかを把握し、この方たちをどう生かせるか。サポートセンターを設立する。</p> <p>健康の実現方策としては、「年をとっても維持するために、気軽に参加できる場所をつくる」「地域で食育を通して交流する」</p> <p>健康の実現方策について説明する。</p> <p>「年をとっても維持するために、気軽に参加できる場所をつくる」は、気楽に参加できる講座や公園でもいいが、例えば、アスレチックのある長岡公園のように、一人でも気楽に体力づくりができる場所を作る。</p> <p>「地域で食育を通して交流する」は、おすそわけという行いが少なくなっている。子供から高齢者までが対象で、各家庭の料理をおすそわけして味付けや食材を分かち合える交流会があれば、とても楽しく食育ができるのではないか。</p> <p>安全・安心の実現方策としては、「公共の交通機関を自由に低額で利用できる」「地域で防犯組織を整備する」「災害に強いまちづくりをする」</p> <p>安全・安心の実現方策について説明する。</p> <p>安全・安心とは、交通の便と交通事故等を含めたもの。</p> <p>「地域で防犯組織を整備する」と「災害に強いまちづくりをする」は、防犯と災害に対しての細かい意見が出た。</p>
委員	<p>Bグループの発表をする。</p> <p>福祉の実現方策としては、「地域内での相互扶助の地域力を高める」「高齢者が生きがいを持って生活ができる施策の充実を図る」「世代を超えた交流の場をつくる」</p> <p>福祉の実現方策について説明する。</p> <p>「地域内での相互扶助の地域力を高める」は、人づくりをしないと誰でも幸せを感じない。</p> <p>「高齢者が生きがいを持って生活ができる施策の充実を図る」は少子高齢社会に伴い、高齢者が重要な位置を占めている。</p> <p>「世代を超えた交流の場をつくる」は、幸せを感じるまちであるためには、世代や地域を超えた交流の場をつくる必要があるのではないか。</p> <p>健康の実現方策としては、「健康維持向上の健診体制を強化確立する」「地産地消の健康づくりをすすめる」「スポーツの振興と施設の充実を図る」</p> <p>健康の実現方策について説明する。</p> <p>「健康維持向上の健診体制を強化確立する」は、今までも集団健診は行っているが、更に強化して地域住民が健診を受けられることが必要である。</p> <p>「地産地消の健康づくりをすすめる」は、先月・先々月のイベントで、まちづくり協議会が「ごぼう汁」「さぎ草汁」を振る舞い、大盛況だった。河内地区の地産地消で健康づくりを進める。</p> <p>「スポーツの振興と施設の充実を図る」は、体を動かすことは健康に繋がる。</p>

	<p>安全・安心の実現方策としては、「声かけ、挨拶を通して地域の連携を高める」「防災・防犯・交通安全の強化を図る」「警察・学校・家庭・地域での一体感をつくる教育の実施」</p> <p>安全・安心の実現方策について説明する。</p> <p>「声かけ、挨拶を通して地域の連携を高める」は、小学校等で実施している声かけ・挨拶を通して地域の連携を高めていくのが重要である。</p> <p>「警察・学校・家庭・地域での一体感をつくる教育の実施」は、保護者も安全・安心の実現のために力を注いでもらい、警察・学校・家庭・地域での一体感をつくる教育の実施は重要である。</p>
委員	<p>Cグループの発表をする。</p> <p>福祉の実現方策としては、「地域住民の連携の強化」「交通弱者の足（移動手段）」「世代を超えた交流の場の充実」</p> <p>福祉の実現方策について説明する。</p> <p>「地域住民の連携の強化」は、昔のように隣同士で目配りをし、見守ってあげるような形を取れば孤立しないのではないかと。</p> <p>「交通弱者の足（移動手段）」の確保は、家に引きこもって足がないために外出できない。来年から始まるデマント交通を充実してもらい、外出して行動していただきたい。</p> <p>「世代を超えた交流の場の充実」は、交流の場を提供して、子供から高齢者までの関係を良くすれば福祉に役立つのではないかと。</p> <p>健康の実現方策としては、「健康づくりをつくる機会をつくる」「地域の農産物を利用した料理の研究」「参加しやすいスポーツ教室の開催」</p> <p>健康の実現方策について説明する。</p> <p>「地域の農産物を利用した料理の研究」は、安全な食べ物を利用し、料理教室等を開催して男性も参加すれば食に興味を持ち、健康に役立つのではないかと。</p> <p>安全・安心の実現方策としては、「気軽に挨拶し合える地域づくり」「地域防災会に関する勉強会」「交通・防犯対策に関する教室の開催」</p> <p>安全・安心の実現方策について説明する。</p> <p>「気軽に挨拶し合える地域づくり」は、地区全体で子供や大人同士が挨拶し合えば安全と安心なまちになるのではないかと。</p>
会長	何か意見はあるか。
委員	(意見なし)
会長	本日いただいた意見は副会長と整理し、自治会議としての実現方策(案)としてまとめ、次回の会議でお示しする。次回の会議は、この(案)について、全体協議を行う。それに続いて、実現プランについてグループ協議を行う。

(3) その他

①次回の開催日程については、平成26年2月に予定。詳細は後日連絡。

②「白沢宿彫刻屋台」の上映について

(4) 閉会